

平成21・22年3月卒業生(2・3期生)からのメッセージ



石田 千花 さん(2期生)

筑波大学・人文文化学群
比較文化学類 卒業/
公益社団法人日本ダンス協会 勤務

私は現在、スポーツ団体で経理をしております。会社のお金の流れは、会社の動きそのものを表しており、難しい判断を求められる場面も多いですが、会社をコントロールできる面白さがあります。

世界は日々変化しており、私の仕事も、その変化に合わせて、経理の枠を超えて様々な仕事を与えられます。その変化を楽しむことができるのは、村上中等教育学校で身に付けた、「考える力」のおかげだと思っています。

村上中等教育学校は、自分の能力を試すような活動が豊富です。また、毎日の授業や課題は、先生方が入念に計画・準備し、全力でサポートしてください。その環境下で、自分と向き合い、仲間と協力しながら過ごした6年間の経験は、今でも自分を支える大切な柱となっています。

現在小学生の皆さんが大人になる頃、世界の変化はもっと大きくなり、より多様な能力が求められるようになることでしょう。自分の未来のために、ぜひ皆さんも村上中等教育学校で、「Let's try!」してみてください。



岩間 海仁 さん(2期生)

神田外語大学・外国語学部
英米語学科 卒業/
富樫建設工業株式会社 勤務

4年前に東京から地元村上市にUターンし、現在は建設会社で施工管理技士として勤めています。村上に戻り、全く違う業界へのチャレンジとなったので、Let's Try!の精神で一から勉強し、建築に係る国家資格を取得しました。施工管理は工事の計画、スケジュール管理、品質管理など、綿密に全体を見渡し多岐に渡る業者とコミュニケーションを取りながら監督する必要があります。人としてのバランス力が試される仕事です。

人生は日々選択の繰り返しです。より良い選択をするため、広い視野をもつ必要があります。村上中等教育学校は勉学のみならず、様々な選択の可能性を教えてくれる学び舎です。語学研修や各界の専門家による講演会、自然の中でのアクティビティなど日々の授業以外で広い世界を知ることができる機会が多く、6年間、仲間と共に知見を深めながら学習できたことは貴重な財産です。

村上中等教育学校で皆さんの視野を広げ、悔いのない選択ができるよう励んでほしいと思います。



稲葉 聡 さん(3期生)

新潟大学・医学部医学科 卒業/
JA新潟厚生連 長岡中央総合病院
及び日本赤十字社長岡赤十字病院
勤務

私は新潟大学医学部小児科学教室の一員として、2021年度は長岡市の病院で勤務しています。小児医療は、NICUでの新生児集中治療から予防接種・乳幼児健診などの予防医学、小児がん・救急集中治療など多岐にわたり、その中で小児科医は多くの役割を担っています。命が生まれ、1つ1つ年を重ねて成長していくという当たり前のような日常を守るために尽力するやりがいの大きな職業です。

大人になり、社会で直面する問題の多くは、明確な答えが存在しないものだらけです。その中で常により良い答えを考え、時に創造しなければなりません。村上中等教育学校での6年間には、机に向かう勉強だけでなく多くの「学び」が詰まっています。学んだ知識や経験だけでなく、「学ぶ」という挑戦の姿勢を身につけたことが、今も自分を助けてくれます。

入学時には受験もあり、不安もあるかもしれませんが、Let's try! です。同じ志をもつ仲間たちや常にサポートしてくれる先生方と充実した6年間を過ごせることでしょう。



中山 俊一 さん(3期生)

東北大学大学院・工学研究科・
博士後期課程 修了/
JFEスチール株式会社・スチール
研究所 勤務

私は現在、鉄鋼会社の研究員として、高性能な鉄鋼材料を生み出す研究開発に携わっています。例えば、東京スカイツリーがお洒落なデザインで日本一の高さにできたのは、近年の鉄鋼材料の開発によるものです。自分の研究成果が社会のモノとなり、世の中を便利にしていくため、この仕事に大きなやりがいを感じています。

社会人として働く現在、人生は「つとめてやまない」ものだと再認識しています。勉強することは、決して大学や大学院で終わりではなく、社会人になった今でも重要になっています。今でも真剣に勉強を続けられるのは、村上中等教育学校で鍛えられた基礎が、現在に活着しているためだと感じています。「Let's try! 挑戦・創造・貢献」の信念、そしてカリキュラムから主体性と多様性を学べたことは、研究する上で私の大切な視点になっています。

村上中等教育学校では、実りのある6年間を提供してくれます。自分の将来を見据えて、本学を選択してみたいかがでしょうか。